病型分類別，痛風・高尿酸血症患者におけるフェブキソスタットの血清尿酸降下作用の検討

山本 徹也¹⁾ 日高 雄二²⁾ 稲葉 雅章³⁾
 石村 栄治⁴⁾ 大山 博司⁵⁾ 角田 弘一⁶⁾
 森脇 優司¹⁾ 樋上 謙士⁷⁾ 太田原 顕⁸⁾
 細谷 龍男⁹⁾ 西川 元¹⁰⁾ 谷口 敦夫¹¹⁾
 上田 孝典¹²⁾ 山内 高弘¹²⁾ 嶺尾 郁夫¹³⁾
 藤森 新¹⁴⁾ 山中 寿¹¹⁾

目 的

病型分類別，痛風・高尿酸血症患者におけるフェブキソスタットの血清尿酸降下作用をオープンラベル，非対称研究にて検討する。

対象および方法

痛風・高尿酸血症患者96症例に24時間尿中尿酸排泄量や血清尿酸値等を測定した後，フェブキソスタットを10mg/日から投与し，一か月ごとに20mg/日，40mg/日と増量し，投与開始4週後，8週後，12週後血清尿酸値等を測定した。また身長，体重，24時間尿中尿酸排泄量と血清尿酸値から尿酸産生過剰型，排泄低下型，混合型に分類し，フェブキソスタットによる血清尿酸値の降下や変化率，尿酸降下の目標達成率，安全性の検討を行った。

結 果

96症例中，産生過剰型16例，尿酸排泄低下型

70例，混合型3例正常型6例であった。混合型が少ないため産生過剰型と合わせて19例として解析した。

産生過剰型＋排泄低下型，排泄低下型，正常型の治療開始時の血清尿酸値はそれぞれ9.06，8.57，7.35mg/dlで，治療12週後の血清尿酸変化率は -0.395 ， -0.371 ， -0.380 で，変化率に差はなかった。また治療12週後の6mg/dl以下への血清尿酸値の目標達成率はそれぞれ72.2%，79.7%，100%で，達成率に差はなかった。治療開始後，痛風関節炎の発症が産生過剰型＋排泄低下型で5例，排泄低下型で7例，正常型で1例見られたが因果関係のある重篤な有害事象は見られなかった。

結 論

病型に関わらずフェブキソスタットは有用な尿酸降下薬と思われた。

- 1) 兵庫医科大学内科学糖尿病・内分泌・代謝科
- 2) 赤坂中央クリニック
- 3) 大阪市立大学医学部代謝内分泌病態内科学
- 4) 大阪市立大学医学部腎臓内科
- 5) 両国東口クリニック
- 6) 角田医院
- 7) 樋上病院
- 8) 山陰労災病院
- 9) 東京慈恵会医科大学慢性腎臓病病態治療学
- 10) 東京慈恵会医科大学腎臓・高血圧内科
- 11) 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター
- 12) 福井大学医学部血液・腫瘍内科
- 13) 市立豊中病院内分泌代謝内科
- 14) 帝京大学医学部内科

Tetsuya Yamamoto, Yuji Moriwaki
 Yuji Hidaka
 Masaaki Inaba
 Eiji Isimura
 Hiroshi Ooyama
 Hirokazu Kakuda
 Kenshi Higami
 Akira Ohtahara
 Tatsuo Hosoya
 Hajime Saikawa
 Atsuo Taniguchi, Hisashi Yamanaka
 Takanori Ueda, Takahiro Yamauchi
 Ikuo Mineo
 Shin Fujimori